平成30年度第3回安城市緑化審議会議事録

日 時：平成30年11月5日（月）午後2時～午後2時45分

場 所：安城市役所 災害対策本部室

出席者：天野暢保、岩瀬英行、大屋順彦、岡田初夫、鈴木 一、高松幸範、
成瀬明浩、兵藤宏子、深津和良、脇田明臣

1 あいさつ 深津部長

2 議題

(1) 緑の基本計画について

パブリックコメントの結果報告、答申。

異議なし。承認。

答申書交付、スケジュール説明。

質問なし。

(2) 樹林保全地区・保護樹木の指定について

樹林保全地区1地区・保護樹木1本指定の説明、保護樹木3本解除の報告。

委 員：指定解除をした保護樹木の現状はどうなっているのか。また条例では解除する場合にも緑化審議会の審議を経ないといけないのではないかと。

事務局：現状2本は伐採されており、1本は残っている状態。また条例では指定する場合には緑化審議会に意見を求め指定をすることになっているが、解除の場合は届け出れば解除できることになっている。

委 員：条文の趣旨からすると届け出ればいくらかでも解除できるというようには読み取れない。今後は解除の場合にも緑化審議会で審議して決定するよう条文や運用を見直していてもらいたい。緑化審議会で審議して決めているのに届け出ただけで解除し、樹木が伐採されている現状を脱する必要があると思うが、委員の皆さんの意見を伺いたい。

委 員：個人の所有物なので解除の場合は、届け出だけでいいと思う。

委員：せっかく指定されたということであれば、市が補助金などを出すということも一つの考えだと思う。個人の所有物なので伐採は仕方ないが補助金などがあれば指定された意義や価値が少しでも伝わると思う。

事務局：保護樹木については、年間で1本2,500円の奨励金を出している。

委員：今回、福釜神明神社が新たに保全地区として指定されたが、神社は大きい樹木が多く、個人の所有ではないので伐採や開発といったこともない。面積も大きいため300㎡といった保全地区の条件に該当する神社がほとんどだと思うが、安城市内の神社は全て指定しているのか。

事務局：安城市内の神社全て保全地区に指定していない。これからは順番に指定していきたい。

異議なし。承認。

3 その他

(1) 平成29年度緑化事業実績について

平成29年度樹木管理、補助金等の実績について説明。

委員：先ほどの保護樹木1本2,500円の奨励金の実績は今の説明でされたのか。

事務局：はい、緑化保全・保護の項目が保護樹木の実績に該当している。

その他質問なし。

(2) 平成30年度緑化事業について

事務局より、平成30年度緑化関連事業予算について説明。

質問なし。